

事業所名

障がい児通所支援事業 わらい

支援プログラム（参考様式）

作成日

7年

3月

15日

法人（事業所）理念		いろいろなライフスタイルを自由なスタイルで周囲とのコミュニケーションの取れた生活								
支援方針		自立に向けた生活能力の獲得向上を目的とする								
営業時間		10時	0分	から	18時	0分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	手洗いうがい、衣類の着脱、片付け、身だしなみや衣類の着脱、食事のマナー、トイレの自立等の健康的な生活を送るための支援を行う。 利用者が自分の力で出来るよう、利用者のペースに合わせて個々の特性や背景など状況に合わせて自発的に行動できるように支援を行う。								
	運動・感覚	身体を使った活動を通して、体感や日常に必要な身体感覚を身につける。 日常一定時間、座位を保つ（朝、帰りの会など） 箸や鉛筆など指先を使った感覚を養う								
	認知・行動	朝の会や帰りの会等を通して、その日の曜日や出来事等を理解する 生活内での時間のリズムでの促し（おやつ、食事、片付け、排泄など）を身につける 集団での活動を通して、屋内外でのルールや周囲の確認（交通ルールや店舗でのルール等）を身につける								
	言語 コミュニケーション	言語学習や、普段の生活を通しての、言葉の理解力（発語、会話の促し）を身につける 挨拶などのコミュニケーションや遊びを通しての友達とのやり取りを必要に応じて職員が声掛け促しを行い支援を行う								
	人間関係 社会性	周りの利用者との協力共同したゲーム活動を通して周囲との人間関係を構築していく支援を行う 遊びや活動を通して、適切な距離感や表現を身につける 集団と個人（公と個）の差違を気付ける力								
家族支援		保護者の話に寄り添い、困り感などの共有等、送迎時や連絡帳などを通して相談を聞くなどの支援をお行う。				移行支援		卒業後の生活などを見通して、学校や他事業所との連携を図り、新しい事業所でもスムーズに生活が遅れるような支援を行う		
地域支援・地域連携		自治会や、他事業所との支援や情報の共有を行い、同じ目線での支援を行えるようにする				職員の質の向上		定期的な施設内の研修や、外部の勉強会や研修の参加。感染対策研修、非常時の災害研修、虐待防止研修等、		
主な行事等		季節の行事や、ボーリング、施設見学、お誕生日会、クッキング買い物学習、遠足、施設や地域での防災訓練等								